

2013-06-28

ふじさわ・九条の会ニュース

NO33



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

meil:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp(ニュース担当)

5・19 ふじさわ・九条の会 8周年集會に280人

「記念講演」「コンサート」「パレード」

＜高田健氏記念講演＞
安倍政権の改憲戦略に、
私たちはどう立ち向かうか



5月19日、「ふじさわ・九条の会」第8回記念集會が、藤沢市民会館小ホールで開かれた。参加者は280人。主催者挨拶、地域九条の会紹介、慶応大学九条の会の挨拶の後、九条の会事務局の高田健氏より、標記のテーマで、約1時間の講演があった。

話は、とても分りやすく、参加者が今何をしなければいけないかを具体的に示す内容だった。安倍首相の改憲戦略、弱点、内外の情勢などポイントをつかんだお話で、どうしたら改憲を阻止できるのかの道筋がよく見えた。アメリカオバマ政権の思惑、日米安保条約との関係、アジアの人々の安倍政権に対する評価、改憲阻止に向けての参議院選対策、各政党の動向、国会の動きなどもよく分かるお話だった。

一涙が止まらなかった
AMANAのコンサート



「臨時なニュースを申し上げます。今日、戦争が無くなります。」から始まった歌のタイトルは「素敵なニュース」だった。記念講演のミニコンサートで、AMANAのボーカル・井手教子さんの語りと歌に急に涙があふれ、止まらなくなった。

この臨時ニュースが、家のラジオから、テレビから流れてくるのを1日も早く聴きたい。そして、武器で無く夢を持たせてあげたい。世界中の人々に。
(福永洋子)

パレードに200名参加 高田氏も
「いいね！」のコール 南口にひびく



集會の後、パレードが行われた。パレードには高田氏も参加され翌日の氏のツ

イッターには次のような書き込みがありました。

「高田健 @ken_takada 昨日、藤沢九条の会で講演のあと、市内を約200名でデモ。この時期に街頭で訴える皆さんの意気に敬意。わたしも一緒にパレードに参加。「9条改憲をめざす96条改憲に反対！」(いいね!)の一斉コール。「いいね！」は最初は少し気恥ずかしかったが、間もなく大きな声で叫びました。藤沢に拍手。」

6/1の全体集会是 熱こもる討論

— 島田事務局長が具体的行動提案 —

2013年度全体集会是6月1日(土)の午後、藤沢産業センターを会場に開催された。



それは、憲法が危ないと全国九条の会からアピールが寄せられる(5月17日)

という状況の中での開催であった。参加者は34名。状況に見合った参加者数とはいえないかもしれないが、会場からは具体的行動を起こそうという参加者の熱のこもった発言が続いた。

〈情勢についての報告〉

小林事務局次長から「自民党」と「維新の会」を中心に、改憲勢力の分析があった。その中で小林さんは「侵略戦争の定義はない」などの安倍首相発言や「慰安婦」肯定発言を続ける橋下維新の会共同代表が国の内外から厳しく批判されていること、また、アベノミクスといわれ、財界からもはやされて登場した実体経済の回復を伴わない安倍内閣の経済政策もメッキが剥げかけてきたことなどをあげ、改憲勢力の強弱が底の浅いものであることを訴えた。

続いて、護憲勢力の動きについての報告があった。その中で小林さんは、かつて第一次安倍内閣がかかげた改憲の狙いを、全国7000余の「九条の会」の結成でこれを阻止した経験があること、そして、今、その経験に学び、9条や

96条を守る運動で「九条の会」ばかりでなく他の市民団体や宗教団体とつながる等、運動の幅が広がってきていること、更にはネット上にも拡げようという運動が全国的に広がっているなどの報告があった。

〈改憲を阻止するための行動提案〉

島田事務局長から、「ふじさわ・九条の会」の活性化のためにこれまでの活動(ミニ学習会、9の日行動、地域を決めての一斉宣伝行動など)は当然としたうえで、今年度は、更に、以下の提案があった。

- ① 一般市民のほか若者に知らせるため、大学、高校の前でチラシを播く。
- ② 市内および近隣の「九条の会」に呼びかけて街頭宣伝を強化。
- ③ 藤沢市内の「九条の会」以外の団体やグループや個人との連帯強化。
- ④ 江ノ電や宅配の車の車体に憲法の広告、また、湘南マラソンや箱根駅伝などで街頭に意見広告など工夫。
- ⑤ 参議院選挙前に各政党の憲法政策の一覧表を作成し、賛同者や市民に知らせる

以上の提案に対して10余の人が意見を述べた。ここでは、二つだけを記す。

- ① 安倍首相が戦後レジュームからの脱却を叫んでいる中で、戦争体験を語っているだけでは若者に響かない。戦後、日本国憲法のもと日本人の生活、平和、人権がいかに保証されてきたかという内容のチラシを考えることが必要である。
- ② 「ふじさわ・九条の会」のステッカーを家の門、郵便受け、車体、バック、自転車などに貼り「九条」が市民の目に届くようにしたい。

(文責 斎藤隆夫)

— 全体集會に参加して —

印象に残った2つの発言

1つ目は「戦争体験だけでなく憲法9条で戦後の生活がどのように変化し良くなったか知らせること」という発言。

2つ目は「議論も大切だが多くの人に関心を持ってもらうために行動すること大切。私は9条の会が創ったかわいいステッカーを車のキズ隠しペタペタと沢山貼っている。停車中や駐車場などで若い人の目を引きつける効果絶大」という発言でした。(中村道子)

憲法を守る行動を起こすのは「今」 全国「九条の会」が 緊急アピール



安倍政権の96条改憲の動きに対して反対の意志を示す（左から）大江健三郎氏と奥平康弘氏、澤地久枝氏＝17日、東京都千代田区

憲法9条だけでなく、立憲主義を破壊する96条の改憲にも反対しましょう！

2013年5月17日、全国「九条の会」がアピールをいたしました。これは、2004年6月10日、九条の会発足の際のアピール以降初めてのことです。このアピール文は「ふじさわ・九条の会」8周年記念のつどいで参加者にお知らせしました。ですから、その時のパレードでは、「憲法を守る行動をするのはいつですか」「今でしょう」「原発を止めるのはいつですか」「今でしょう」と「今でしょう」コールをしながら歩きました。

このアピールは次のように訴えています。・・・
「安倍内閣・自民党は小選挙区制という極端に民意をゆがめる選挙制度の力で得た虚構の多数を背景に、改憲に向けて暴走しはじめました。安倍首相はその入り口として憲法96条をとりあげ、現在衆参それぞれの3分の2の賛成とされている憲法改正の発議要件を過半数に緩和するとしています。これが、時々の多数派のつごうで憲法を変えられる状況をつくりだし、立憲主義を破壊するものとなることは明らかです。

（中略）同時に安倍首相は、憲法の明文改憲が実現する以前にも、憲法の解釈変更によって『憲法9条のもとでは許されない』とされてきた集団的自衛権の行使を可能とし、海外でアメリカと一体となった武力行使をおこなおうとしています。私たちは憲法9条の精神を根本から否定する明文・解釈両面からのこうした企てを絶対に許すことはできません。」として、全国の九条の会が活発に学習や行動をすることを訴えています。

私たち「ふじさわ・九条の会」はこの訴えに応え駅頭や大学の門前でチラシ配布をすることを計画し、みなさまに行動予定をハガキでお知

らせしました。このチラシには、憲法9条と96条、そして集団的自衛権の行使に関する各政党の政策一覧を掲載し、憲法を守る政党や候補者を国会へ送りましょうとよびかけています。さらに、今回は「賛同者全員が行動する」ということを願って、チラシ20枚を同封することにしました。このチラシをご家族や知人に、またご近所にお配りください。賛同者のみなさま、今こそ一斉に行動しましょう。

（事務局長 島田啓子）

―鎌倉九条の会のつどい 2013― 今こそ日本国憲法の価値を見直そう



熱い議論を交わす（右から）内橋さん、落合さん、金子さん

「鎌倉九条の会」による集い「原発と日本国憲法」が大船の芸術館

大ホールで開かれた。超満員の1500人とあふれた人々がロビーでビデオを見て、講演や討議に耳を傾けた。

経済評論家の内橋克人さんは、「福島の悲劇に学ぼうとしない政治家を、二度と国会に送ってはなりません」と語り、金子勝さんは「原発事故は国家的犯罪」と断言。落合恵子さんは生活者の立場から「原発反対、改憲反対を自分の身近なところから始めよう！。この運動を決して止めない！」と訴え、会場から大きな拍手がわいた。「憲法は権力者をしぼるものである」ということを再認識した講習会だった。（國枝 健）

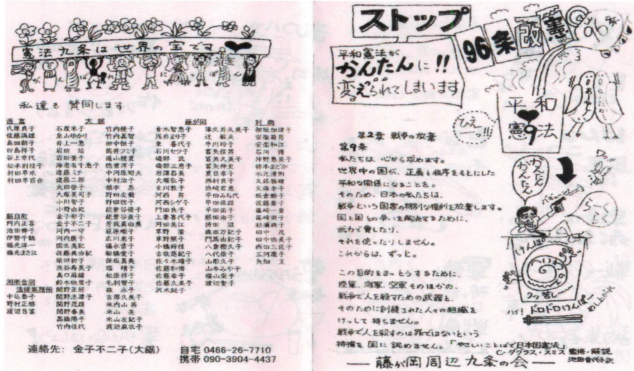
私も、新しく「ふじさわ・九条の会」 に加入、HPの作成を担当します

高須賀 建郎

私が今般一念発起したのは、昨年末の総選挙開票状況を見ていた時、今回ほどの危機意識を感じたのは本能的なものか。憲法も、国民生活も、労働も、一切合財がかつて来た道を辿る。民主勢力がクタクタになっている状況で、「九条の会」は”原発”同様 まとまれる。草の根の活動は、かつての”ベ平連”的。地元の「ふじさわ・九条の会」でも頑張ります。事務局として、ホームページの作成を担当します。

手製のチラシを作り、みんなで配布 —藤が岡周辺九条の会—

地域で憲法を守る運動を広げるために、「憲法改悪反対共同センター」の黄色いリーフが漫画入りで大変わかりやすいので、広めたいなー、と思いました。少数精鋭？の全戸配布より、例えば100人で少しずつ配布できたらいいなーと



<地域九条の会>、 各地で学習会活動すすむ

憲法改悪が差し迫った状況の下で、地域九条の会が、独自にDVDを見たり、戦争体験を聴いたり、テーマを決め会員が講師になったりして、活発に学習会が行われています。運動は学習からすすみます。

- 6月15日～六会・九条の会学習会
- 6月17日～藤が岡周辺九条の会
- 6月20日～湘南大庭九条の会
- 6月29日～江ノ電沿線九条の会

<2013年度の役員>

全体集会で選出された2013年度の役員は下記のとおりです。

- 一世話人—

青柳節子	井上一恵	大山正雄
岡村孝子	折原美知子	河西 昇
金子不二子	川崎 健	久保博夫
國枝 健	見城次子	小林麻須男
紺野君子	斎藤隆夫	坂本敏江
崎山 稔	佐藤 厚	島田啓子
白崎勇次郎	白田眞木	鈴木圭子
曾根和子	高須賀健郎	田島祥子
永田陽子	平田保雄	保坂治男
堀内陽子	村木 薫	持田早苗
吉鶴美智子	渡辺聖子	渡辺慈子
渡辺博明	渡辺誠	(以上35人)

—会計監査— 永山園子

—事務局員—

島田(事務局長)、小林(事務局次長) 齋藤(事務局次長)、渡辺(聖)(会計)、永田 金子、久保、田島、佐藤、高須賀(10人)

—ニュース担当—

小林、永田、折原、河西、渡辺(慈)、白田 平田 國枝(9人)

—HP担当— 高須賀

〔注〕「ふじさわ・九条の会」のホームページがリニューアルされました。とてもスッキリして読みやすくなりました。ぜひ開いて見て下さい。アドレスも変わりました。

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

思い、「九条を守る」賛同者を地域で募り、136名のお名前を載せた会の仲間のチラシを作りました。ピンク色で、漫画いっぱい楽しいものです。これを黄色のリーフと組み合わせました。名前をのせた方は「5枚なら配れる」「ダンスの会で20枚」「うちのマンション60枚」健脚組は1人で200枚配る人もいて、何とか7月初旬には4000枚の配布ができそうです。

(金子不二子)

<9の日行動に参加して>、 チラシを受取って貰えなかった彼に

その日、どこかの自衛隊学校の生徒さんかと思われるグレーの制服、制帽姿の少年が目の前を通りかかり、私は彼を小走りに追いかけてから声をかけました。「学校で『どんなものでも絶対に受け取ってはいけない』と言われていまして」実に丁寧な、悲しいお返事でした。

ここは21世紀、日本国憲法下の日本。でも彼には、街中も「壁に耳あり、障子に目あり」チラシも受け取れない。日本であって、「見ざる聞かざる・・・」いろいろな意見が有るということを知ってはいけない日本がある。

私は、憲法に、日本の暮らしの隅々にももっと輝いて生きて行ってほしいと願って、「有難う！お元気だね！」と、彼を見送りました。

(白田 眞木)